

マイセンの美

—いとしのフィギュリン 華麗なるセルヴィス—

講演会 マイセン磁器の魅力 19世紀後半の動向を中心に

ハートが
キユン



五感の寓意「聴覚」
19世紀後半

すべて岐阜県現代陶芸美術館蔵
(小早川コレクション)



庭師の少年少女
19世紀後半



馬上のエカテリーナ2世
19世紀後半



羊飼男女像時計
19世紀後半



花文カップ&ソーサー
19世紀後半

2017.7.15 sat 14:00~15:30 (13:30 開場)



| 講師 | 山口敦子氏
岐阜県現代陶芸美術館 学芸員

| 場所 | 兵庫陶芸美術館 研修棟1階 セミナー室
| 定員 | 110名
| 聴講料 | 無料 (ただし観覧券が必要です)

※詳しくは裏面をご覧ください



芸術の寓意「建築」
19世紀後半

講演会 マイセン磁器の魅力 19世紀後半の動向を中心に

山口敦子氏は、2012年に岐阜県現代陶芸美術館で開催された「麗しのマイセン人形」展を担当され、本展の展覧会参考図録も手掛けられました。また、19世紀末から20世紀初頭にかけてのヨーロッパや日本の陶磁器を紹介する展覧会も企画されています。

講演会では、マイセンを含む19世紀後半のヨーロッパ陶磁器の動向を交えながら、300年以上の歴史を持ち、今尚、ヨーロッパの名窯であり続けるマイセン磁器製作所が生み出した“マイセン磁器の魅力”をお話しいたします。



花飾ボブリ壺「科学」
壺：1877
彫像：1895頃

山口敦子（やまぐち・あつこ）氏
岐阜県現代陶芸美術館 学芸員

2009年岐阜県現代陶芸美術館臨時学芸員、2010年より現職。専門は西洋陶磁史・デザイン史。企画した主な展覧会に「ヨーロッパ名窯 美麗革命！アール・ヌーヴォーの装飾磁器」（2015）、「世界とつながる本当の方法 みて・きいて・かんじる陶芸」（2014）、「オールド大倉の世界展」（2013）、「アラビア × フィンランド陶芸—北欧モダンデザインの系譜—」（2011）など。

♥ 兵庫陶芸美術館へのアクセス



- 〔自動車の場合〕
- ・舞鶴若狭自動車道・三田西ICより約15分
または丹南篠山口ICより約20分
 - ・中国自動車道・滝野八代ICより国道372号を東へ約30分
 - ・阪神方面より国道176号を北上、三田市四ツ辻信号を左折約15分
- 〔JR・バスの場合〕
- ・福知山線「相野駅」下車（大阪駅から約50分）
駅前より神姫グリーンバス「兵庫陶芸美術館」、
「こんだ薬師温泉」または「清水」行き約15分、
「兵庫陶芸美術館」下車
(タクシーもあります)

♥ お申込みについて

ご参加には事前にお申込みが必要です。チラシ下部の参加申込書の各欄をご記入のうえ、この面をFAXか郵送でお送りください。お電話または当館ホームページからもお申込みいただけます。

〔お申込先〕
兵庫陶芸美術館
〒669-2135 篠山市今田町上立杭4
TEL: 079-597-3961
FAX: 079-597-3967
URL: <http://www.mcart.jp/>
E-MAIL: togei@pref.hyogo.lg.jp

貼花鳥飾蓋付壺
19世紀後半



すべて岐阜県現代陶芸美術館蔵
(小早川コレクション)

♥ 参加申込書 | 講演会「マイセン磁器の魅力 19世紀後半の動向を中心に」 2017年7月15日(土) 14:00～15:30 (13:30開場)

ふりがな お名前	*必須	申込人数	*必須	ご住所 (市区町村まで)	*必須
ご連絡先	TEL	FAX	E-MAIL	都道府県	市区町村
	—	—	—	—	—
		*FAXでお申込みの方は必須			